

平成 24 年 度

# 全国学校保健調査集計結果報告

公益社団法人 日本薬剤師会  
学 校 薬 剤 師 部 会  
全 国 学 校 保 健 調 査 W G

平成 24 年 度  
全国学校保健調査集計結果報告  
(公社)日本薬剤師会 学校薬剤師部会  
—— 全国学校保健調査WG ——

## I. はじめに

平成21年4月1日付で「学校環境衛生基準」(以下、「基準」という。)が文部科学省告示60号として新たに施行されてから2年が経過したことから、平成24年度全国学校保健調査は、平成23年度に各学校において、この「基準」に基づいて実施した「照度及び照明」の定期検査及び日常点検等について行った。

調査はすべての学校を対象とし、同一校内に数種類の学校が設置されている場合はそれぞれ1校とした。学校薬剤師が委嘱されている学校は原則として担当学校薬剤師が行い、委嘱されていない学校についてもできるだけ調査した。

調査票(マークシート)は各都道府県薬剤師会等を通じて配布及び回収し、これをもとに(公社)日本薬剤師会の全国学校保健調査WGがまとめたものである。

## II. 集計結果及び考察

調査票は33,749校に配布し、回収した学校数は31,517校であった。このうち、学校の種類等について、記入不備等基本データの欠落により集計不能のものが138校あったため、31,379校(表2参照)について集計を行った。併設校は各々1校として数え、高等専門学校については全日制高等学校に含めた。有効回答率は93.0%であった。

集計結果は調査項目順に記載しており、集計結果の百分率は小数点以下2桁目を四捨五入し1桁で表示した。

なお、複数回答のグラフが示す割合は全体を100としているため、本文の数値とは異なっている。

## 平成 24 年度全国学校保健調査 (平成 23 年 4 月～平成 24 年 3 月までの活動報告)

コピー不可

—平成 23 年度の「照度及び照明」の定期検査及び日常点検、学校薬剤師の活動状況について—

公益社団法人日本薬剤師会 学校薬剤師部会

<b>記入・取扱 上の注意</b>	1. 記入は必ずHBの黒鉛筆で正確に塗りつぶしてください。	4. 用紙をクリップやホッチキスで留めないでください。
	2. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。	記入例  良い例 ●      悪い例 ⊗ ⊙ ⊖
	3. 用紙を汚したり、折り曲げたり、穴を開けたりしないでください。	

**\* 調査方法、集計結果の発表等について**

1. この調査は学校薬剤師が行います。
2. この調査は平成 23 年度に行った活動結果についてお答えください。
3. 調査結果は集計した結果のみ発表し、個々の学校について発表することはありません。
4. この用紙は、一校につき一枚ずつ記入してください。

例えば、幼稚園と小学校が同一校地内にある場合、全日制高等学校と定時制高等学校が同一校舎を使用している場合、別の場所に分校がある場合、小中高等学校が一貫教育である場合などは、それぞれの学校につき一枚ずつ記入してください。

5. この調査についてのご質問や、記入済みの用紙のご提出は、各都道府県薬剤師会（学校薬剤師会）を通じてお願いします。

学校名	正式名で記入 (ゴム印が望ましい)	児童生徒数	人
所在地			
学校教職員の職名及び氏名			
学校薬剤師氏名			
調査年月日	平成 2 4 年	月	日

**\* 基本データ（漏れなくマークしてください。マーク漏れがあると集計より除外されます。）**

A. 学校設置区分	① ⑤
1. 国立                      2. 都道府県立                      3. 区立                      4. 市立                      5. 町立	② ⑥
6. 村立                      7. 組合立                      8. 私立	③ ⑦
	④ ⑧
B. 学校の種類	① ⑤
1. 幼稚園                      2. 小学校                      3. 中学校                      4. 全日制高等学校	② ⑥
5. 定時制高等学校                      6. 特別支援学校                      7. 高等専門学校	③ ⑦
	④
C. 児童生徒数	千の位    ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
調査当日の在籍数をマークしてください。	百の位    ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
	十の位    ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(ゼロもマークするようにしてください)	一の位    ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
D. 都道府県コード (必ずマークしてください)	十の位    ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩
(ゼロもマークするようにしてください)	一の位    ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩

**A. 「採光及び照明」の定期検査についてお尋ねします。**

A-1	実施した「採光及び照明」の検査項目について、該当するものを選んでください。 1. 照度とまぶしさの両方とも行った    2. 照度のみ行った    3. まぶしさのみ行った (A-9の設問へ) 4. 両方とも行わなかった (A-11の設問へ)	① ② ③ ④
A-2	実施した「採光及び照明」の場所について、該当するものを選んでください。(複数回答可) 1. 普通教室とコンピュータ教室の両方とも行った    2. 普通教室のみ行った 3. コンピュータ教室のみ行った    4. 普通教室以外の特別教室や体育館等について行った	① ② ③ ④
A-3	検査の回数について、該当するものを選んでください。 1. 2回以上行った    2. 1回行った	① ②
A-4	照度を測定した場所について、該当するものを選んでください。(複数回答可) 1. 教室の机上    2. 教室の黒板    3. テレビ画面(教室又は視聴覚室) 4. コンピュータ教室の机上    5. コンピュータ画面    6. その他(床面等)	① ④ ② ⑤ ③ ⑥

(裏面にも回答欄があります)

表1-2

A-5	測定に使用した照度計について、該当するものを選んでください。 1. JIS C 1609 に適合している照度計 2. その他の光電池照度計 3. その他のデジタル照度計	① ② ③
A-6	照度計の補正について、該当するものを選んでください。 1. 定期的に行っている 2. 使用時に行っている 3. 行ったことはない	① ② ③
A-7	照度の測定者について、該当するものを選んでください。(複数回答可) 1. 学校薬剤師 2. 教職員 3. その他	① ② ③
A-8	照度の結果について、該当するものを選んでください。(複数回答可) 1. 照度が下限値(300Lx)未満の教室があった 2. 照度が下限値(500Lx)未満のコンピュータ教室があった 3. 最大照度と最小照度の比が20:1を超える教室があった 4. 最大照度と最小照度の比が20:1を超える黒板があった 5. 該当なし	① ② ③ ④ ⑤
A-9	まぶしさの検査結果について、該当するものを選んでください。 1. まぶしさがあった 2. まぶしさはなかった	① ②
A-10	「採光及び照明」に関して改善が必要な場合の事後措置について、該当するものを選んでください。 1. 報告書を提出して指導・助言した 2. 口頭で指導・助言した 3. 何もしなかった 4. 改善の必要はなかった	① ② ③ ④
A-11	照明器具の清掃の回数について、該当するものを選んでください。 1. 年3回以上 2. 年2回 3. 年1回 4. 行わなかった(Bの設問へ)	① ② ③ ④
A-12	照明器具の清掃の実施者について、該当するものを選んでください。 1. 生徒(中学校・高校) 2. 保護者 3. 教職員等 4. 業者 5. その他	① ④ ② ⑤ ③

B. 「採光及び照明」の日常点検についてお尋ねします。

B-1	日常点検の実施及び記録状況について、該当するものを選んでください。 1. 毎授業日点検し、毎回記録している 2. 毎授業日点検し、時々記録している 3. 毎授業日点検したが、記録はない 4. 時々点検し、記録はある 5. 時々点検したが、記録はない 6. 行わなかった(Cの設問へ)	① ② ③ ④ ⑤ ⑥
B-2	日常点検項目について、該当するものを選んでください。(複数回答可) 1. 黒板面の明るさ 2. 机上面の明るさ 3. 黒板面のまぶしさ 4. 机上面のまぶしさ	① ③ ② ④
B-3	実施者について、該当するものを選んでください。 1. 教職員 2. 児童生徒 3. その他	① ② ③

C. 学校薬剤師の活動状況

C-1	学校保健安全委員会等の開催回数について、該当するものを選んでください。 1. 3回以上開催した 2. 2回開催した 3. 1回開催した 4. 開催しなかった(C-5の設問へ) 5. 学校保健安全委員会等はない(C-5の設問へ)	① ④ ② ⑤ ③
C-2	学校薬剤師の学校保健安全委員会等への出席について、該当するものを選んでください。 1. 3回以上出席した 2. 2回出席した 3. 1回出席した 4. 出席しなかった(C-5の設問へ)	① ③ ② ④
C-3	学校保健安全委員会等での学校薬剤師に係わる議題について、該当するものを選んでください。(複数回答可) 1. 定期検査及び臨時検査 2. 日常点検 3. 薬の適正使用教育 4. 薬物乱用防止教育 5. 学校保健計画 6. 学校安全計画 7. その他	① ⑤ ② ⑥ ③ ⑦ ④
C-4	開催日時について、該当するものを選んでください。(複数回答可) 1. 平日の昼間 2. 平日の夜間 3. 土曜日の昼間 4. 土曜日の夜間 5. 日曜日の昼間 6. 日曜日の夜間	① ⑤ ② ⑥ ③ ④
C-5	学校薬剤師活動に係わる研修会や講習会等への参加状況について、該当するものを選んでください。 1. 積極的に参加した 2. ときどき参加した 3. 参加しなかった	① ② ③
C-6	学校薬剤師執務記録簿への記入について、該当するものを選んでください。(複数回答可) 1. 職務に従事したとき 2. 電話等で指導助言したとき 3. 学校保健に関する研修会や講習会に出席したとき 4. その他	① ② ③ ④

ご協力ありがとうございました。

表2 都道府県別有効数

都道府県名	合計	幼稚園	小学校	中学校	全日制高等学校	定時制高等学校	特別支援学校	高等専門学校
北海道	898	64	501	237	68	6	18	4
青森	536	12	286	149	63	8	17	1
岩手	679	58	354	176	70	5	15	1
宮城	547	21	295	149	55	4	19	4
秋田	454	40	223	120	51	6	12	2
山形	381	5	240	78	45	2	11	0
福島	805	1	465	227	82	7	21	2
茨城	672	84	337	154	78	3	15	1
栃木	587	15	355	143	51	3	15	5
群馬	467	42	187	154	61	6	17	0
埼玉	1,577	89	844	430	145	26	42	1
千葉	1,358	91	757	349	113	11	30	7
東京都	2,110	124	1,192	560	132	46	52	4
神奈川県								
新潟	886	36	501	231	86	8	24	0
富山	291	23	152	66	34	5	10	1
石川	318	3	185	73	41	5	10	1
福井	261	19	150	57	25	2	8	0
山梨	197	1	122	48	19	2	4	1
長野	640	6	345	171	88	9	20	1
岐阜	605	70	311	164	41	4	11	4
静岡県	1,096	174	498	267	117	11	28	1
愛知県	1,549	68	914	385	132	17	29	4
三重	689	149	338	133	45	8	12	4
滋賀	530	150	216	97	46	6	13	2
京都	658	61	348	151	62	12	23	1
大阪	1,867	272	927	428	179	17	39	5
兵庫県	1,630	370	732	327	131	26	38	6
奈良	429	132	168	89	29	3	8	0
和歌山	395	34	212	103	25	8	12	1
鳥取	220	10	115	59	23	4	9	0
島根	340	59	167	72	28	4	10	0
岡山	550	148	250	97	36	10	9	0
広島	637	17	389	178	39	2	11	1
山口	573	45	298	144	61	8	15	2
徳島	383	88	176	77	31	2	9	0
香川	340	108	144	56	21	3	7	1
愛媛	270	21	151	62	27	2	7	0
高知	110	3	62	28	9	3	5	0
福岡	1,200	20	709	311	96	25	36	3
佐賀	333	0	174	99	44	7	9	0
長崎	622	16	345	173	61	8	17	2
熊本	625	21	366	157	57	8	16	0
大分	342	31	186	79	30	2	12	2
宮崎	407	9	225	120	36	3	12	2
鹿児島	881	65	522	214	63	1	15	1
沖縄	434	2	223	122	61	9	16	1
合計	31,379	2,877	16,657	7,764	2,837	377	788	79

注：神奈川県は調査票の提出がなかったため空欄となっています。

## A. 「採光及び照明」の定期検査についてお尋ねします。

### A-1 実施した「採光及び照明」の検査項目について、該当するものを選んでください。

グラフA-1 都道府県別（16ページ参照）

採光及び照明等の検査において、照度とまぶしさの両方とも行ったのは54.4%、照度のみは22.0%、まぶしさのみは1.6%、どちらも行わなかったのは22.0%であった。

学校種別では幼稚園以外は大きな差はなかった。幼稚園は実施しなかった割合が少し高く41.1%であった。

都道府県別では、照度とまぶしさともに行った割合が高かったのは新潟で9割程度、千葉、滋賀及び三重は8割程度であった。石川、福岡、岡山では半数以上が両方とも行わなかった。

### A-2 実施した「採光及び照明」の場所について、該当するものを選んでください。（複数回答可）

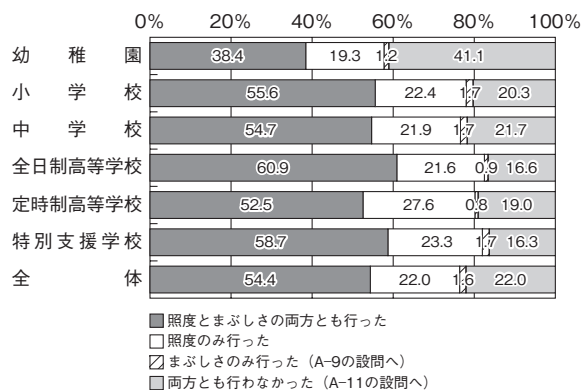
グラフA-2 都道府県別（16ページ参照）

普通教室のみ行った割合が最も高く58.8%、普通教室とコンピュータ教室の両方とも行ったのは35.0%であった。コンピュータ教室のみは0.7%、普通教室以外の特別教室や体育館等について行ったのは19.7%であった。

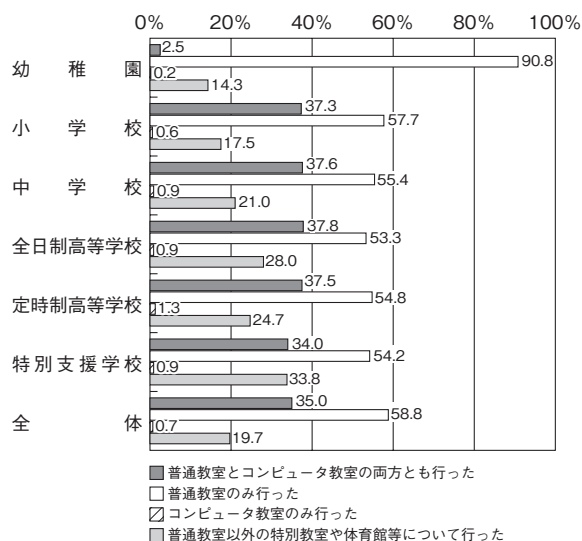
学校種別では、幼稚園以外は大きな差はなかった。幼稚園ではコンピュータの設置率が低いためか普通教室の割合が高く90.8%であった。

都道府県別では、普通教室とコンピュータ教室の両方とも行った割合が高かったのは新潟で93.4%、三重は70.2%、富山は63.5%であった。

A-1 実施した「採光及び照明」の検査項目について、該当するものを選んでください。



A-2 実施した「採光及び照明」の場所について、該当するものを選んでください。（複数回答可）



### A-3 検査の回数について、該当するものを選んでください

グラフ A-3 都道府県別（17ページ参照）

検査を2回以上行った割合は36.3%、1回行った割合は63.7%であった。

学校種別では大きな差はなかったが、高等学校では2回実施した割合が4割を超えていた。

都道府県別では、検査を2回以上行った割合が最も高かったのは三重で77.1%、また、京都、千葉、愛知では6割を超えた。

### A-4 照度を測定した場所について、該当するものを選んでください。（複数回答可）

グラフ A-4 都道府県別（17ページ参照）

照度を測定した場所は、検査を行った学校のうち教室の机の上は96.9%、黒板は90.9%であった。コンピュータやテレビの設置率についての調査を今回は行わなかったが、コンピュータ教室の机の上の実施率は33.7%、コンピュータ画面は20.0%、教室又は視聴覚室のテレビ画面は10.5%であった。

学校種別では、幼稚園以外は大きな差はなかった。幼稚園では、床面等その他の場所の実施の割合が他と比べて高く30.8%であった。

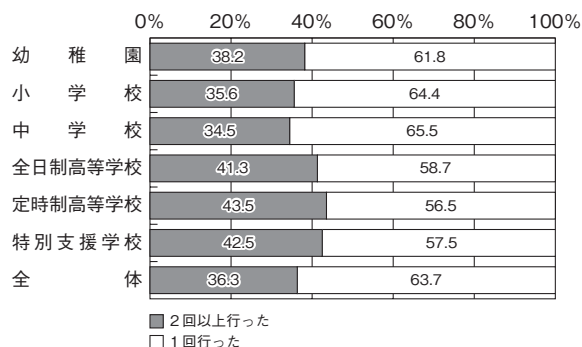
都道府県別では、基準で定める測定場所全体にわたって検査を行っていたのは、新潟、富山、三重、滋賀、京都、広島であった。

### A-5 測定に使用した照度計について、該当するものを選んでください。

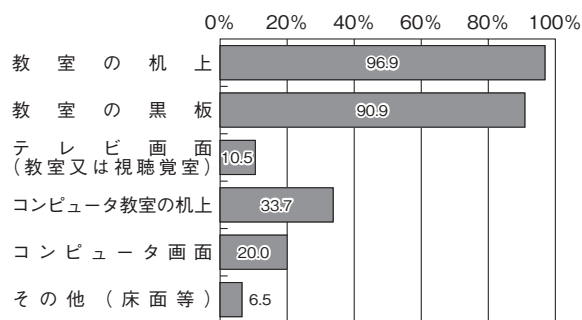
グラフ A-5 都道府県別（18ページ参照）

測定に使用した照度計は、74.9%の学校においてはJIS C 1609の適合品であったが、その他のデジタル照度計は17.9%、光電池照度計は7.2%であった。

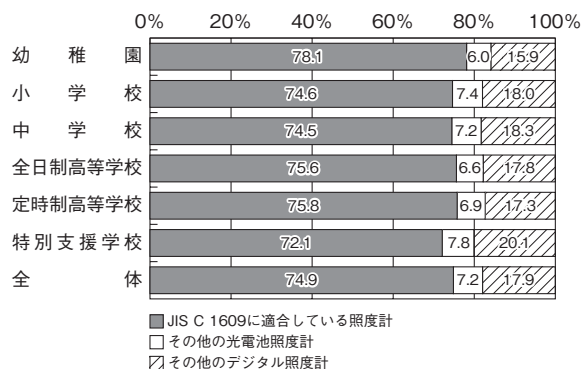
### A-3 検査の回数について、該当するものを選んでください。



### A-4 照度を測定した場所について、該当するものを選んでください。（複数回答可）



### A-5 測定に使用した照度計について、該当するものを選んでください。



学校種別では、あまり大きな差はなかった。

都道府県別では、JIS C 1609の適合品を使用した割合が多かったのは宮崎で95.1%、青森、京都、滋賀も85%を超えていた。

### A-6 照度計の補正について、該当するものを選んでください。

グラフA-6 都道府県別 (18ページ参照)

照度計の補正を定期的に行っているのは29.5%、使用時のみ行っているのは26.5%であったが、一度も行ったことがないのは44.0%であった。

学校種別では、あまり大きな差はなかった。

都道府県別では、補正を定期的に行っている割合が高かったのは宮崎で69.4%、次いで青森は60.3%、長崎は51.2%であった。一方、使用時のみ行っている割合が高かったのは、福岡、沖縄、和歌山で4割程度、全く行ったことがない割合が6割以上と高かったのは、福井、愛媛、岡山であった。

### A-7 照度の測定者について、該当するものを選んでください。(複数回答可)

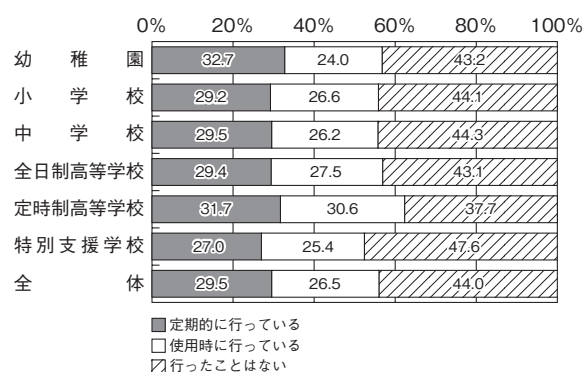
グラフA-7 都道府県別 (19ページ参照)

照度を測定したのは、学校薬剤師が88.8%、教職員は21.3%、その他は1.8%であった。

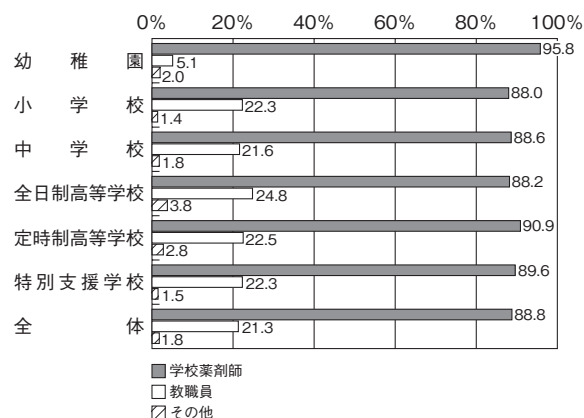
学校種別では、幼稚園以外は大きな差はなかった。幼稚園では学校薬剤師の割合が高く95.8%、教職員の割合は低く5.1%であった。

都道府県別では、学校薬剤師の割合が95%以上と高かったのは三重、滋賀であった。一方、教職員の割合が高かったのは愛媛、岡山が6割、群馬は5割程度であった。その他の測定者が多かったのは岡山、石川で1割程度であった。

A-6 照度計の補正について、該当するものを選んでください。



A-7 照度の測定者について、該当するものを選んでください。(複数回答可)





**A-8 照度の結果について、該当するものを選んでください。(複数回答可)**

グラフA-8 都道府県別 (19ページ参照)

教室の照度が下限値 (300Lx) 未満だった割合は15.7%、また、コンピュータ教室の照度が下限値 (500Lx) 未満だった割合は9.7%であった。最大最小比が20:1を超える教室や黒板の割合は少なかった。

学校種別では、下限値未満の教室の割合が高かったのは定時制高等学校の23.5%、下限値未満のコンピュータ教室の割合が低かったのは幼稚園の1.2%であった。

都道府県別では、下限値未満の教室の割合が高かったのは、京都で29.3%、三重は24.4%、また下限値未満のコンピュータ教室の割合が高かったのは、三重、新潟で3割程度であった。

**A-9 まぶしさの検査結果について、該当するものを選んでください。**

グラフA-9 都道府県別 (20ページ参照)

まぶしさがあったのは8.1%、なかったのは91.9%であった。

学校種別では、まぶしさのない割合が高かったのは幼稚園の97.9%、定時制高等学校の96.6%であった。

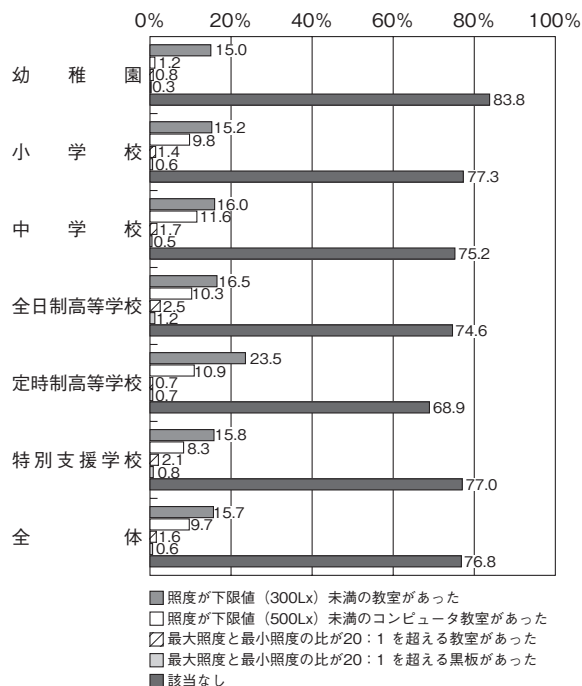
都道府県別では、まぶしさのあった割合が最も高かったのは沖縄の28.4%で、なかった割合が最も高かったのは和歌山、大分、青森で97%以上であった。

**A-10 「採光及び照明」に関して改善が必要な場合の事後措置について、該当するものを選んでください。**

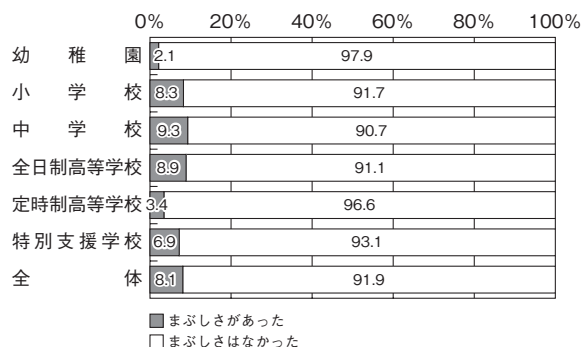
グラフA-10 都道府県別 (20ページ参照)

改善が必要な場合の指導・助言については、

**A-8 照度の結果について、該当するものを選んでください。(複数回答可)**



**A-9 まぶしさの検査結果について、該当するものを選んでください。**



報告書を提出したもの35.6%、口頭によるものは14.7%であったが、改善の必要がなかったのは48.4%であった。

学校種別では、報告書提出の割合が全体と比較して高かったのは定時制高等学校で41.8%であった。幼稚園では改善の必要がない割合が他と比べて高く61.8%であった。

都道府県別では、報告書提出の割合が高かったのは沖縄、京都でおよそ7割、三重は6割程度、口頭に指導助言は広島、島根、熊本、岐阜で3割程度であった。岡山では指導助言を行わなかった割合が7.7%であった。

**A-11 照明器具の清掃の回数について、該当するものを選んでください。**

グラフ A-11 都道府県別 (21ページ参照)

照明器具の清掃を行った割合については、年3回以上は8.8%、年2回は8.7%、1回は36.9%で、一度も清掃しなかった割合は45.6%であった。

学校種別では、年3回以上の割合が高かったのは中学校10.6%、年2回は幼稚園14.4%、1回は幼稚園と小学校でおよそ40%であった。

都道府県別では、年3回以上の割合が高かったのは埼玉、岐阜、富山でおよそ2割程度、一度も清掃しなかった割合が高かったのは高知、熊本、福島、石川、徳島でおよそ6割程度であった。

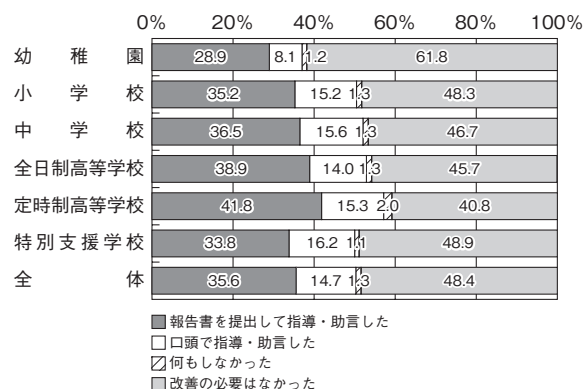
**A-12 照明器具の清掃の実施者について、該当するものを選んでください。**

グラフ A-12 都道府県別 (21ページ参照)

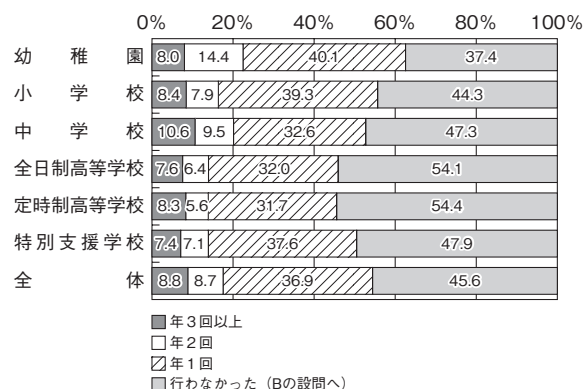
照明器具の清掃を行ったのは教職員等が最も多く73.5%、生徒は14.1%、保護者5.6%で、業者は少なく3.7%であった。

学校種別では、教職員等の割合が多かったの

**A-10 「採光及び照明」に関して改善が必要な場合の事後措置について、該当するものを選んでください。**



**A-11 照明器具の清掃の回数について、該当するものを選んでください。**



は幼稚園、小学校、特別支援学校で8割以上、生徒が多かったのは全日制高等学校、中学校、定時制高等学校であった。

都道府県別では、長野、沖縄、岩手、佐賀においては生徒が2割を、また、福井、山梨、宮崎においては保護者が2割を超えていた。東京では業者の割合が高く16.1%であった。

## B. 「採光及び照明」の日常点検についてお尋ねします。

B-1 日常点検の実施及び記録状況について、該当するものを選んでください。

グラフB-1 都道府県別 (22ページ参照)

日常点検の実施状況については、毎授業日点検し毎回記録したのは5.0%に過ぎず、時々点検したが記録しなかったのが最も多く31.0%、毎授業日点検したが記録しなかったのは24.6%、一度も実施しなかったのは28.3%であった。

学校種別では大きな差はなかった。一度も実施しなかった割合が高かったのは幼稚園の48.2%であった。

都道府県別では、毎授業日点検し毎回記録した割合が高かったのは岐阜で44.1%、愛知、群馬、山口は3割程度であった。一度も実施しなかった割合が高かったのは三重、高知、兵庫であった。

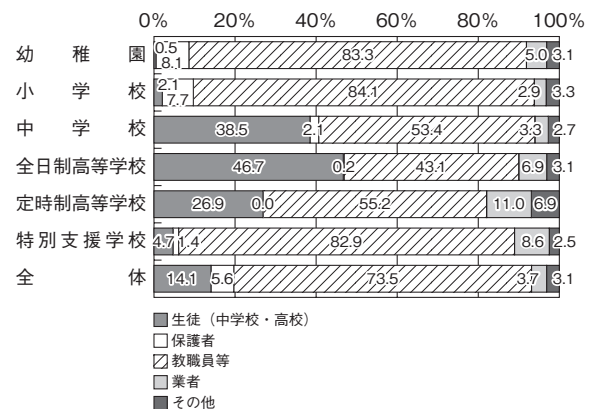
B-2 日常点検項目について、該当するものを選んでください。(複数回答可)

グラフB-2 都道府県別 (22ページ参照)

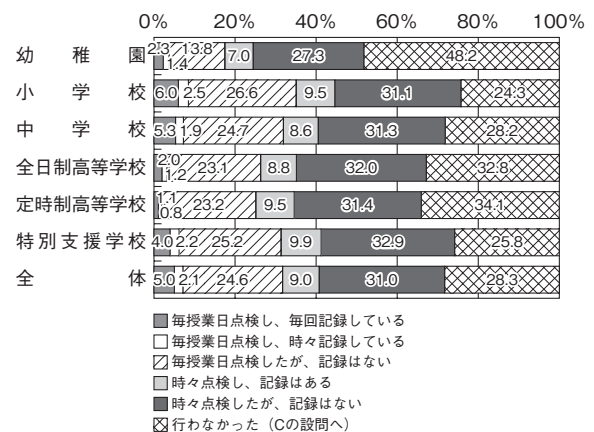
明るさの点検については、黒板面78.3%、机上面は83.2%で、まぶしさは、黒板面59.7%、机上面50.5%であった。

学校種別では幼稚園以外は大きな差はなかった。幼稚園では机上面より黒板面の点検の割合

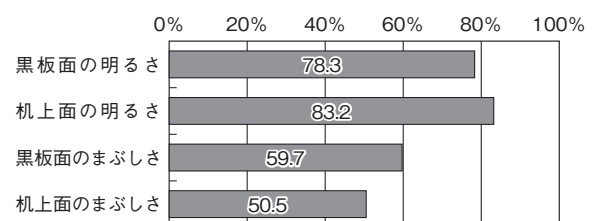
A-12 照明器具の清掃の実施者について、該当するものを選んでください。



B-1 日常点検の実施及び記録状況について、該当するものを選んでください。



B-2 日常点検項目について、該当するものを選んでください。(複数回答可)



が低かった。

都道府県別では大きな差はなかったが、まぶしさの実施率の割合が低かったのは北海道と山梨であった。

### B-3 実施者について、該当するものを選んでください。

グラフB-3 都道府県別（23ページ参照）

日常点検の実施者はほとんどが教職員で95.7%であった。

学校種別では大きな差は見られなかった。

都道府県別では、岐阜で児童生徒の割合が高く29.9%、教職員の割合は低く68.5%であった。

## C. 学校薬剤師の活動状況

### C-1 学校保健安全委員会等の開催回数について、該当するものを選んでください。

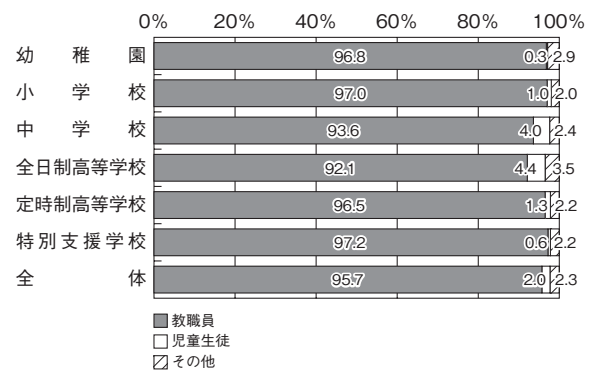
グラフC-1 都道府県別（23ページ参照）

学校保健安全委員会等の開催回数は、1回が最も多く42.1%、2回は19.8%、3回は少なくとも7.9%であった。一方、委員会はあるが開催しなかったのは16.9%、委員会がないのは13.2%であった。

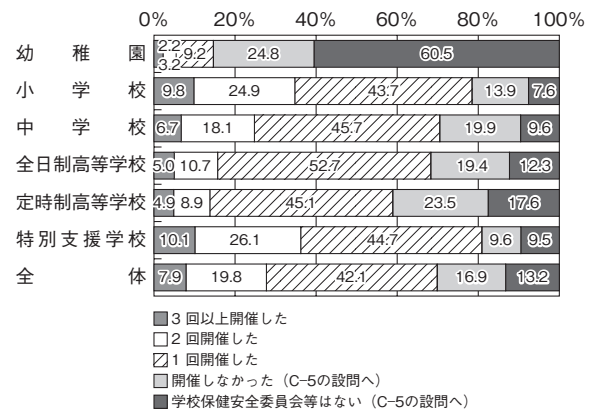
学校種別では、幼稚園においては、委員会がないのは60.5%、委員会はあるが開催しなかった割合が24.9%、開催した割合は少なくとも14.6%であった。

都道府県別では、長崎、鹿児島、沖縄、群馬においては回数も多く積極的に行われていた。北海道、高知、福岡、大分、青森では開催しない割合が高く、委員会がない割合が高かったのは高知、青森、山梨であった。

B-3 実施者について、該当するものを選んでください。



C-1 学校保健安全委員会等の開催回数について、該当するものを選んでください。



**C-2 学校薬剤師の学校保健安全委員会等への出席について、該当するものを選んでください。**

グラフC-2 都道府県別（24ページ参照）

学校薬剤師が学校保健安全委員会等へ出席した回数については、1回が最も多く40.5%、2回は12.7%、3回は3.3%で、一度も出席しなかった割合は43.5%であった。

学校種別では、全日制・定時制高等学校ともに1回出席した割合が半数を超えている一方で、1回も出席しなかった割合はおよそ3割と少なかった。

都道府県別では、1回出席した割合が高かったのは岐阜で94.8%、次いで京都86.3%、鳥取は84.6%であった。一方、一度も出席しなかった割合が高かったのは宮崎、北海道、島根であったが、学校からの要請がないため出席しなかったことも原因の一つと考えられる。

**C-3 学校保健安全委員会等での学校薬剤師に係わる議題について、該当するものを選んでください。（複数回答可）**

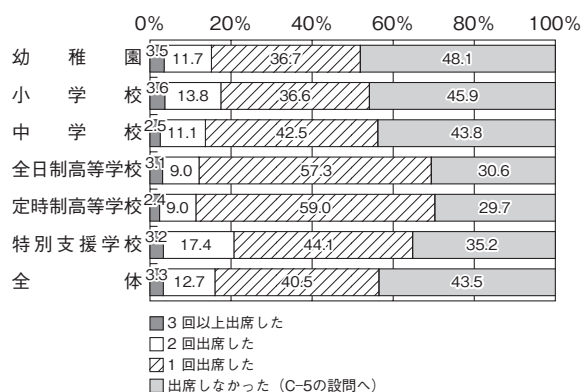
グラフC-3 都道府県別（24ページ参照）

委員会等における議題については、定期検査や臨時検査が最も多く65.4%、次いで、薬物乱用防止教育34.1%、学校保健計画27.2%、薬の適正使用教育24.4%、日常点検16.3%、学校安全計画14.4%であった。

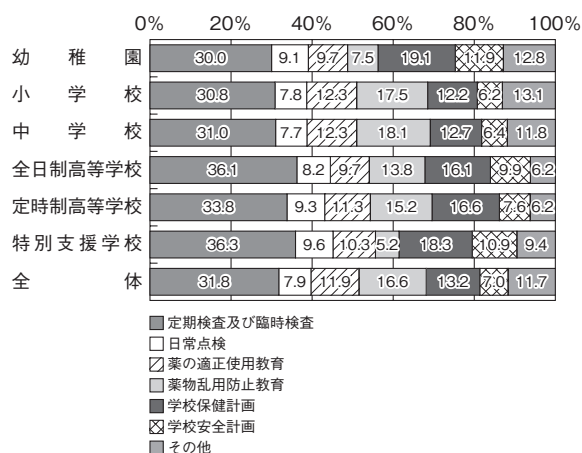
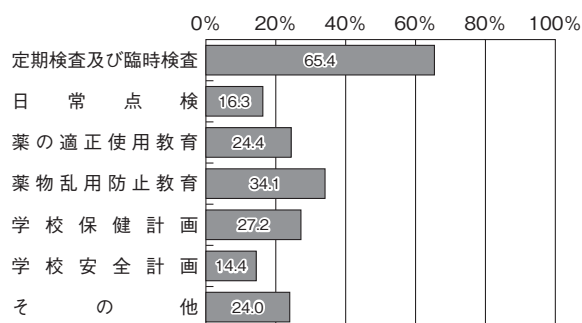
学校種別では、高等学校や特別支援学校においては定期検査や臨時検査の割合が高く、幼稚園や特別支援学校では薬物乱用防止教育の割合が少なかった。また、幼稚園、全日制高等学校及び特別支援学校では学校安全計画の割合が高かった。

都道府県別では、定期検査等の割合が高かったのは沖縄、滋賀、宮城、また、日常点検につ

C-2 学校薬剤師の学校保健安全委員会等への出席について、該当するものを選んでください。



C-3 学校保健安全委員会等での学校薬剤師に係わる議題について、該当するものを選んでください。（複数回答可）



いては青森、岐阜、大分が高かった。薬の適正使用教育は静岡、宮崎、栃木、また、薬物乱用防止教育は熊本、静岡であった。学校保健計画の割合が高かったのは島根、山形、岐阜、茨城、福井であった。

**C-4 開催日時について、該当するものを選んでください。(複数回答可)**

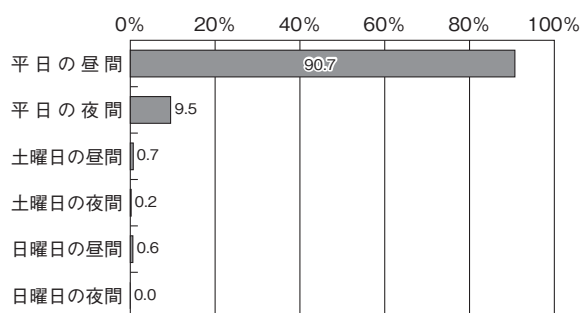
グラフC-4 都道府県別 (25ページ参照)

委員会の開催日時については、平日の昼間が高く90.7%、平日の夜間は9.5%であった。

学校種別では、平日の夜間の割合が最も高かったのは定時制高等学校の16.2%であった。

都道府県別では、平日の夜間は山形が高く55.6%、高知は44.8%、岩手、沖縄は35%程度であった。

C-4 開催日時について、該当するものを選んでください。(複数回答可)



**C-5 学校薬剤師活動に係わる研修会や講習会等への参加状況について、該当するものを選んでください。**

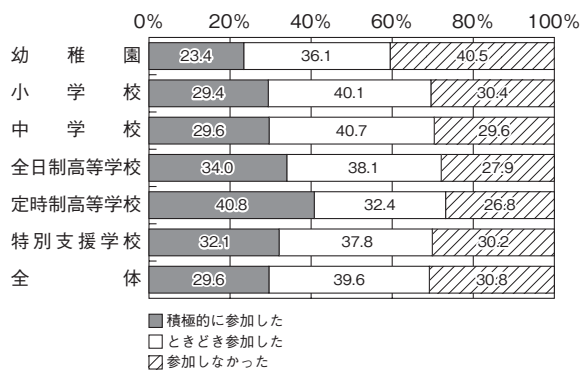
グラフC-5 都道府県別 (25ページ参照)

研修会等への学校薬剤師の参加について、積極的に参加したのは29.6%、ときどき参加したのは39.6%、参加しなかったのは30.8%であった。

学校種別では、積極的に参加した割合が高かったのは定時制高等学校の40.8%、参加しなかった割合が高かったのは幼稚園の40.5%であった。

都道府県別では、積極的に参加した割合が高かったのは、沖縄、茨城、京都、宮崎、また、参加しなかった割合が高かったのは福井、島根であった。

C-5 学校薬剤師活動に係わる研修会や講習会等への参加状況について、該当するものを選んでください。



**C-6 学校薬剤師執務記録簿への記入について、該当するものを選んでください。(複数回答可)**

グラフC-6 都道府県別 (26ページ参照)

学校薬剤師執務記録簿への記入で最も多かったのは、職務に従事したときで87.1%、研修会等に参加したときが15.1%、電話等で指導助言したときが12.5%であった。

学校種別では、小学校と中学校、高等学校と特別支援学校が同様の傾向を示したが、幼稚園においてはその他の職務の割合が多かった。

都道府県別では、職務に従事したときの割合が高かったのは宮城、新潟、熊本、徳島、また指導助言は山口、沖縄、山形、研修会等に参加したときは東京、群馬、岐阜、高知であった。

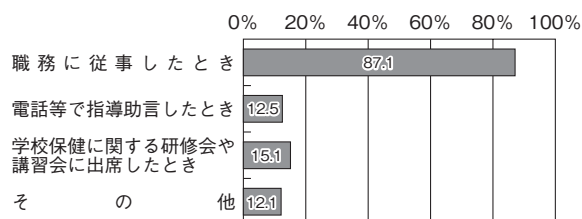
### Ⅲ. まとめ

「基準」の施行から2年が経過したことから、実施率の改善を今回の集計結果に期待したが、1年前と比較して大きく改善されたとはいえない結果であった。

今回の調査では、コンピュータ教室の有無及びコンピュータやテレビの設置率について質問しなかったため、設置率次第で数値が変動する可能性があることを前置きしたうえで、実施率の観点から結果の概要を以下に記す。

- (1) 「照度及び照明環境」の定期検査の対象は照度とまぶしさである。両方とも行ったのはおよそ半数で、2割程度は検査を全く行わなかった。(図1参照)
- (2) 検査対象の場所は普通教室とコンピュータ教室である。両方とも行ったのは3割を超えたが、コンピュータ教室についてはおよそ6割が検査を行わず、普通教室だけを対象としていた。(図2参照)
- (3) 照度を測定する場所は、教室の机上面と黒

C-6 学校薬剤師執務記録簿への記入について、該当するものを選んでください。(複数回答可)



板面及びテレビ画面、コンピュータ教室の机上面とディスプレイ面である。今回、教室の机上面及び黒板面はともに9割を超えていたものの、テレビ画面及びコンピュータ教室の机上面とディスプレイ面は低い実施率であった。(図3参照)

学校薬剤師が行う定期検査の実施結果の活用によって学校環境衛生の維持や向上が図れることを踏まえ、定期検査の完全実施に向けて次の二つのことを提案したい。

- (1) 都道府県別集計結果から地域によって実施率に差があるため、特に実施率が低かったところを対象に研修会を開催し、「基準」が文部科学省告示であることや具体的な「基準」の内容等について周知する必要があると思われる。
- (2) 学校薬剤師が行う照度の定期検査において、測定するための照度計は必須機器である。教育委員会には機器整備のための継続的な予算措置を要望したい。また、新規に整備した照度計は、従来品で検査を行う際の補正に活用していただきたい。

学校環境衛生を向上させるため、日常点検結果を定期検査に反映できればより効果的である。今回の結果では、毎授業日に点検を実施し毎回記録していたのは5%に過ぎなかった。学校には、毎授業日に必ず点検を実施し確実に記録に残しておくよう指導していただきたい。(図4及び5参照)

学校保健委員会の議題については、定期検査や臨時検査の割合が最も多く、次いで薬物乱用防止教育であった。学校薬剤師は、学校からの要請があつてはじめて委員会に参加することになるので、今後の取組として、委員会を開催する場合は、学校から参加の要請を忘れずにしていただきたいと思う。

(参考)

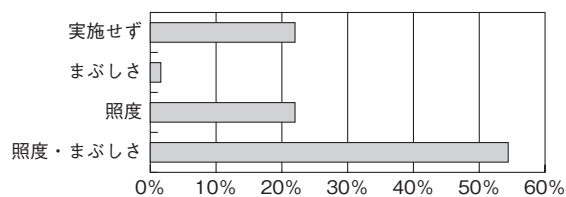


図1 定期検査の実施率 (%)

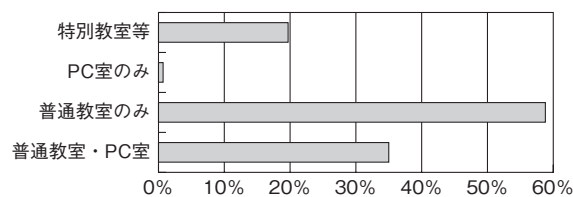


図2 定期検査を行った場所の割合

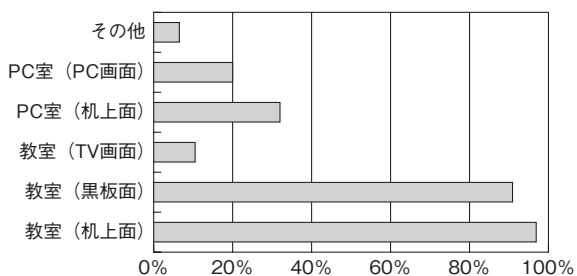


図3 照度の測定を行った場所

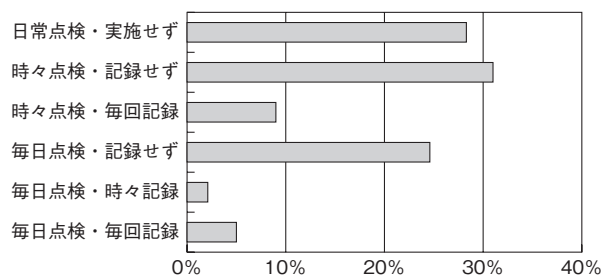


図4 日常点検の実施状況

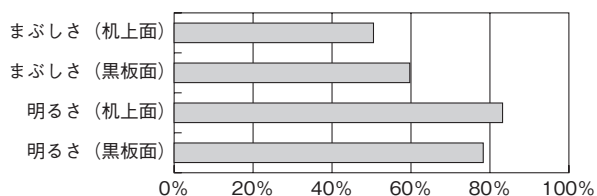


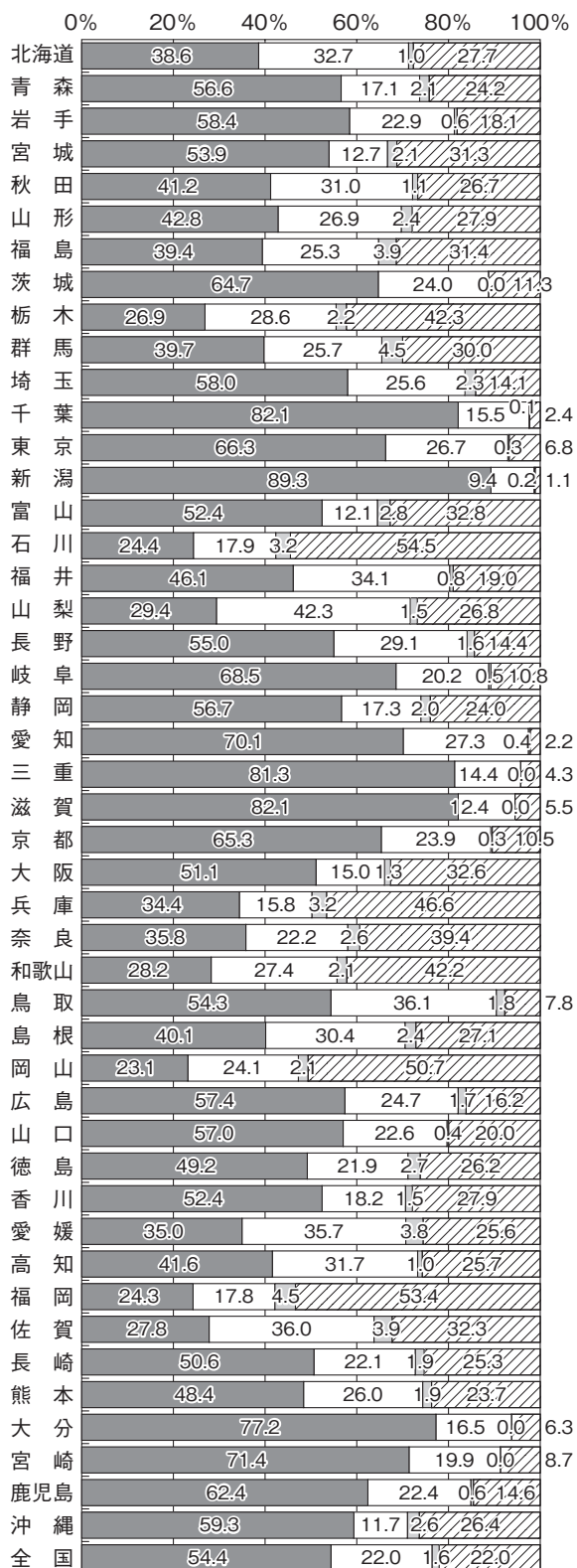
図5 日常点検の実施率

## IV. 終わりに

本調査を実施するにあたり、ご指導とご協力を賜りました文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課、各都道府県市町村等の教育委員会に深く感謝いたします。

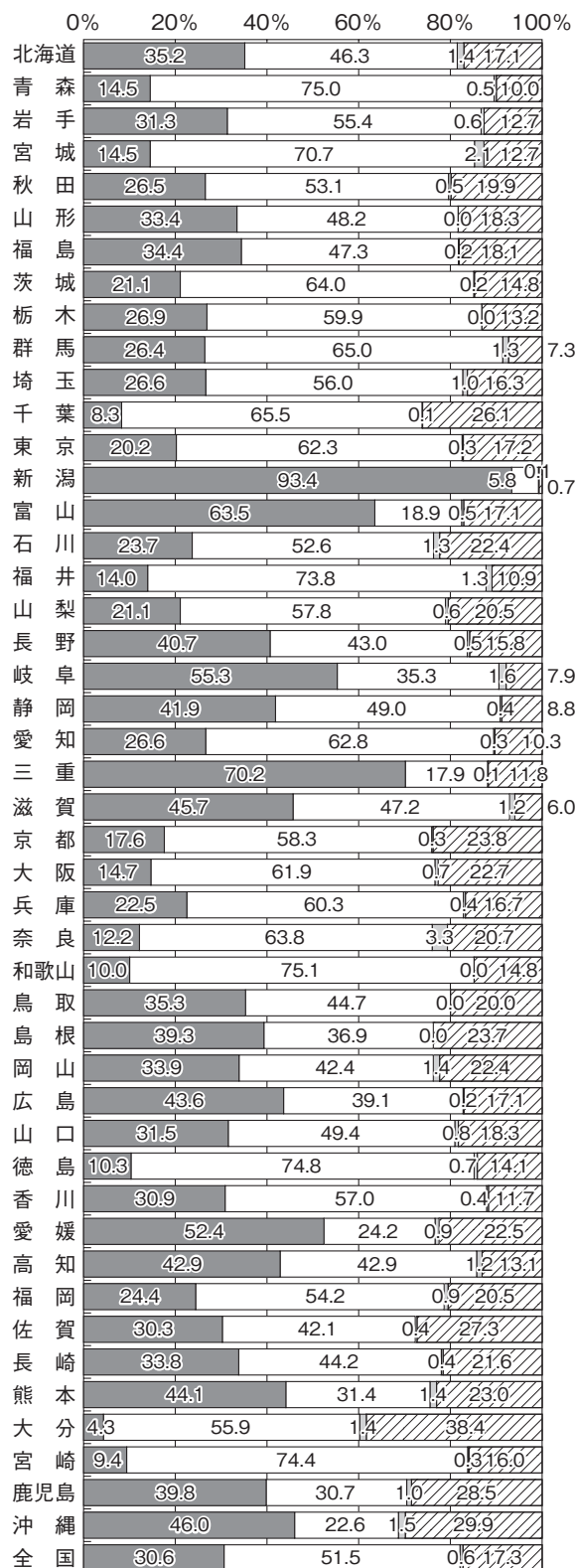


A-1 実施した「採光及び照明」の検査項目について、該当するものを選んでください。



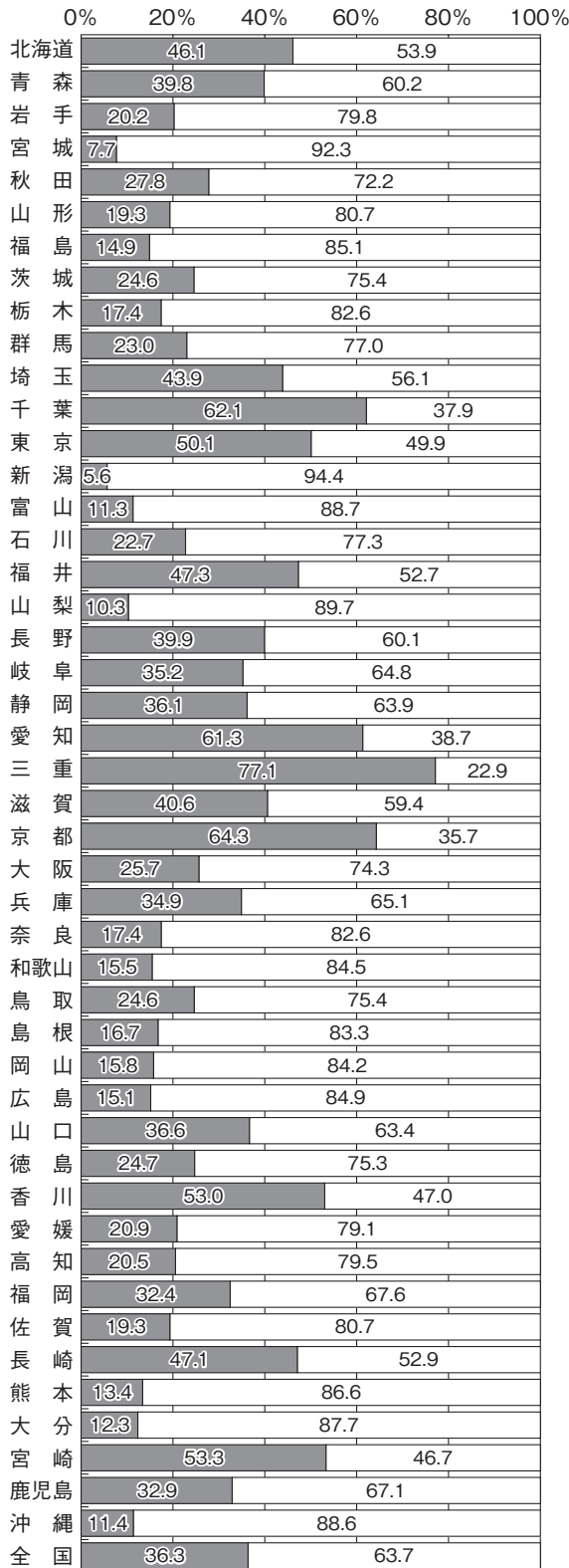
- 照度とまぶしさの両方とも行った
- 照度のみ行った
- まぶしさのみ行った (A-9の設問へ)
- 両方とも行わなかった (A-11の設問へ)

A-2 実施した「採光及び照明」の場所について、該当するものを選んでください。(複数回答可)



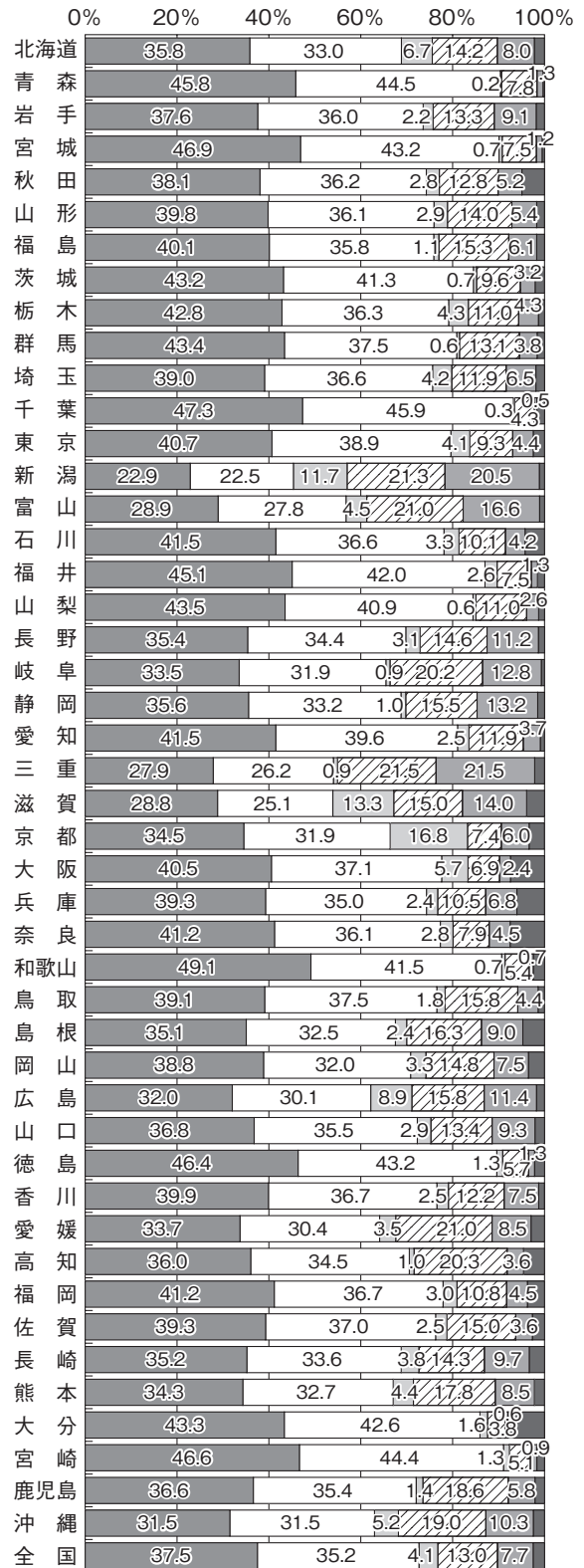
- 普通教室とコンピュータ教室の両方とも行った
- 普通教室のみ行った
- コンピュータ教室のみ行った
- 普通教室以外の特別教室や体育館等について行った

A-3 検査の回数について、該当するものを選んでください。



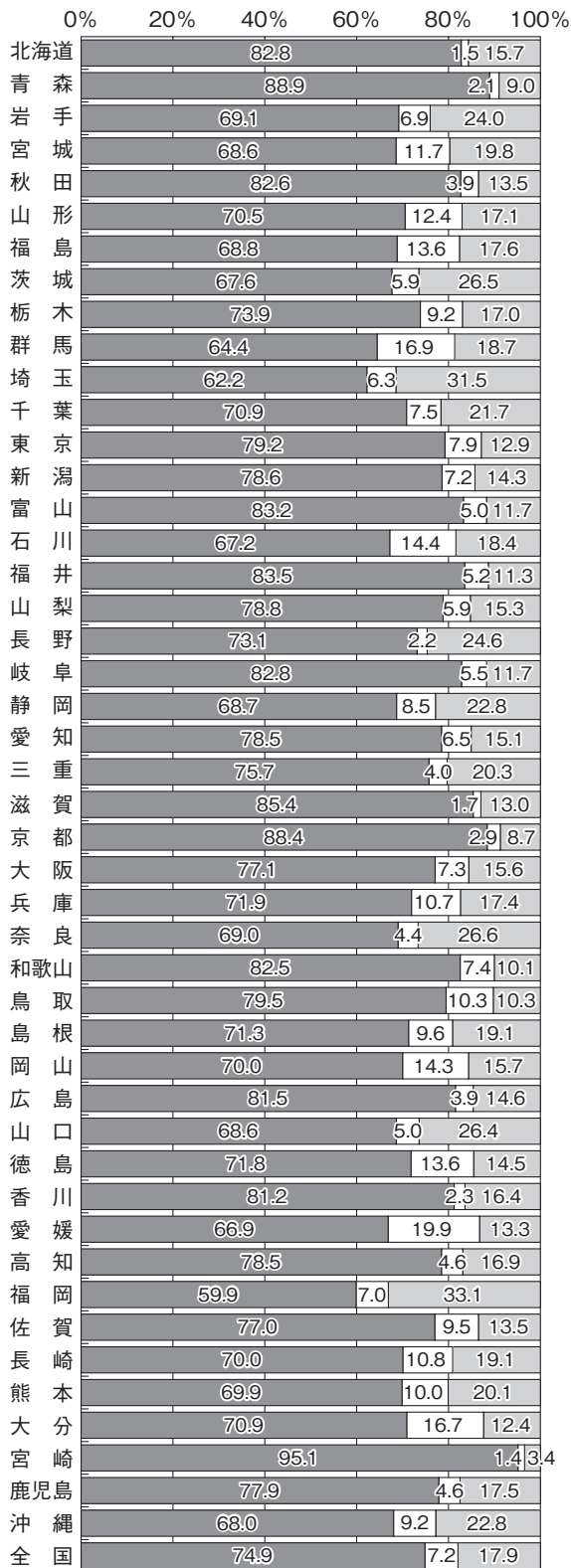
■ 2回以上行った  
□ 1回行った

A-4 照度を測定した場所について、該当するものを選んでください。(複数回答可)



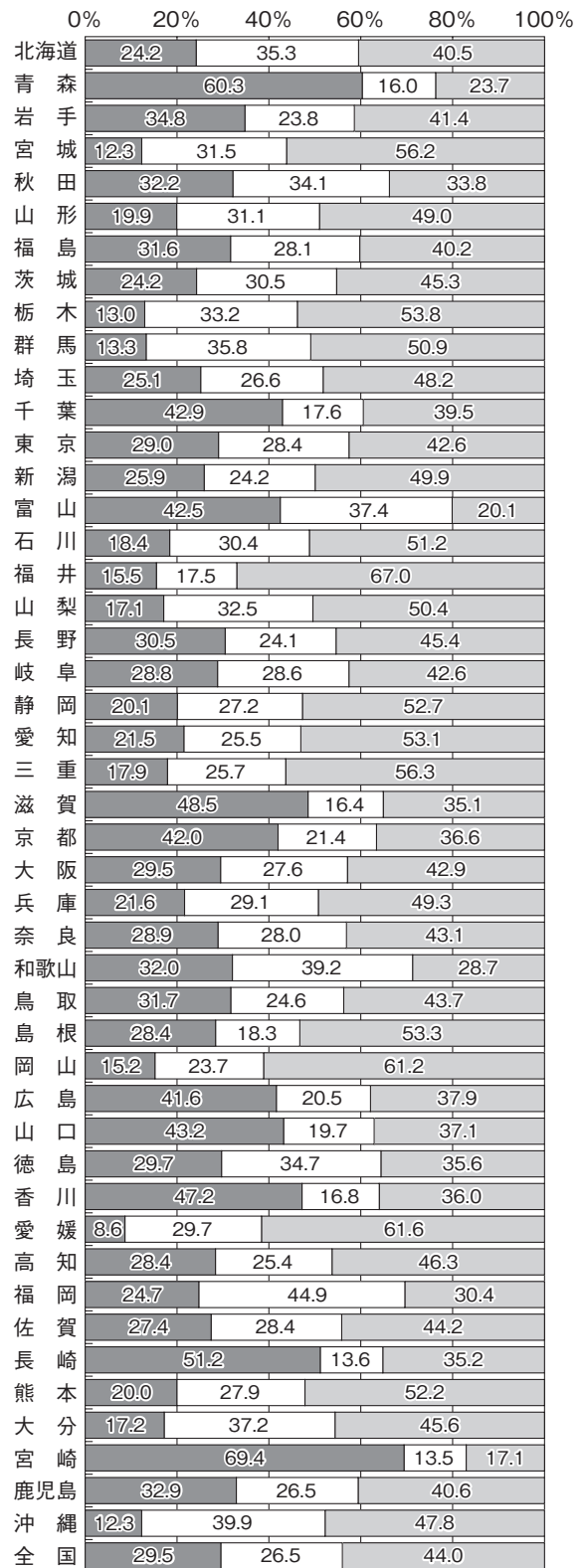
■ 教室の机上  
□ 教室の黒板  
■ テレビ画面 (教室又は視聴覚室)  
▨ コンピュータ教室の机上  
■ コンピュータ画面  
■ その他 (床面等)

A-5 測定に使用した照度計について、該当するものを選んでください。



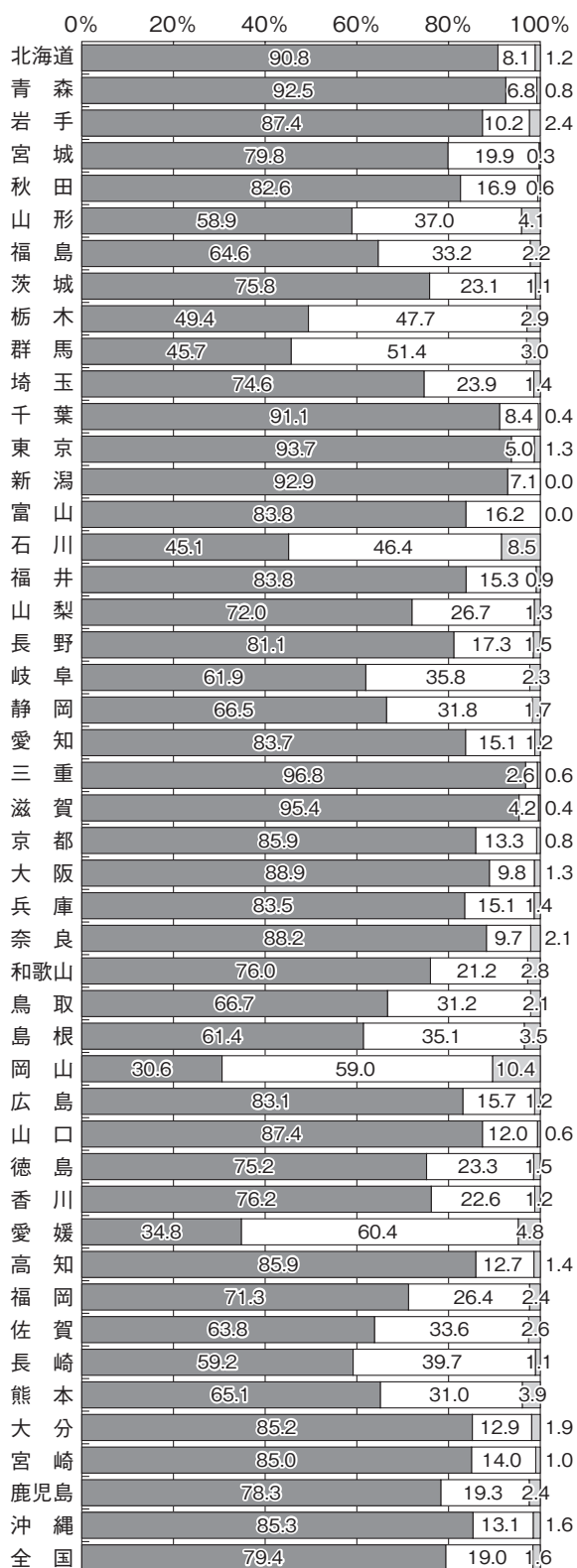
- JIS C 1609に適合している照度計
- その他の光電池照度計
- その他のデジタル照度計

A-6 照度計の補正について、該当するものを選んでください。



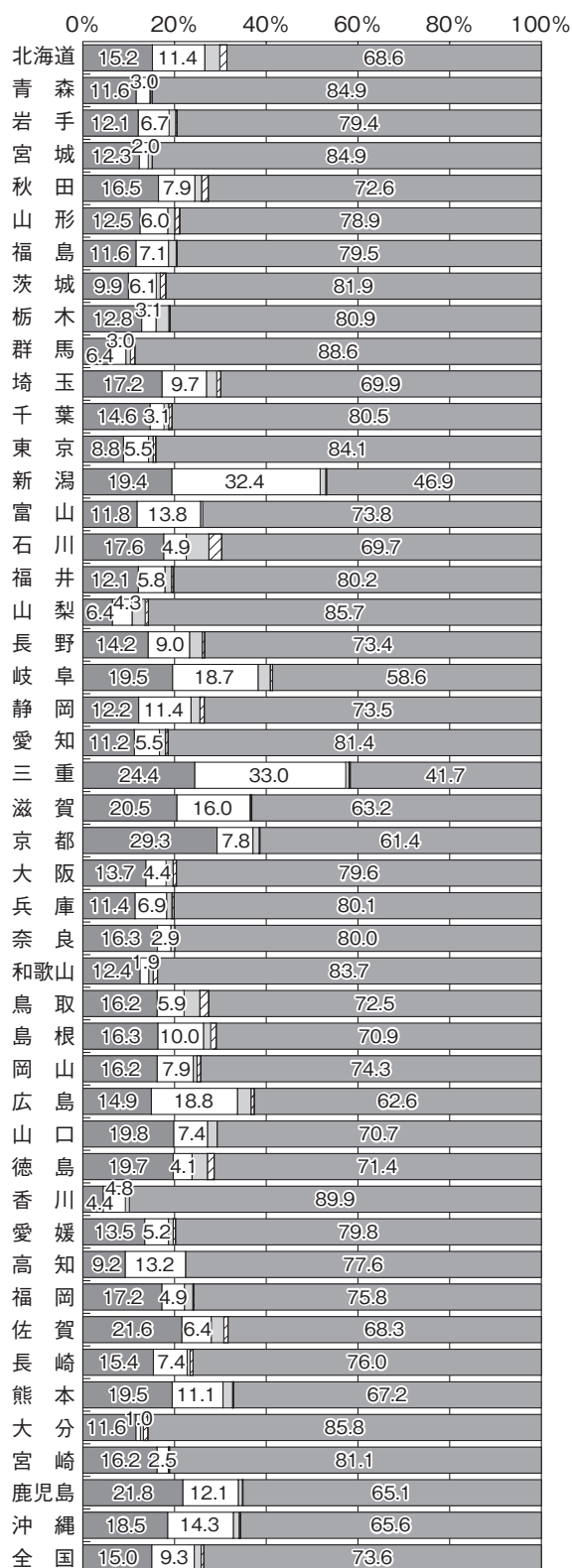
- 定期的に行っている
- 使用時に行っている
- 行ったことはない

A-7 照度の測定者について、該当するものを選んでください。(複数回答可)



- 学校薬剤師
- 教職員
- その他

A-8 照度の結果について、該当するものを選んでください。(複数回答可)



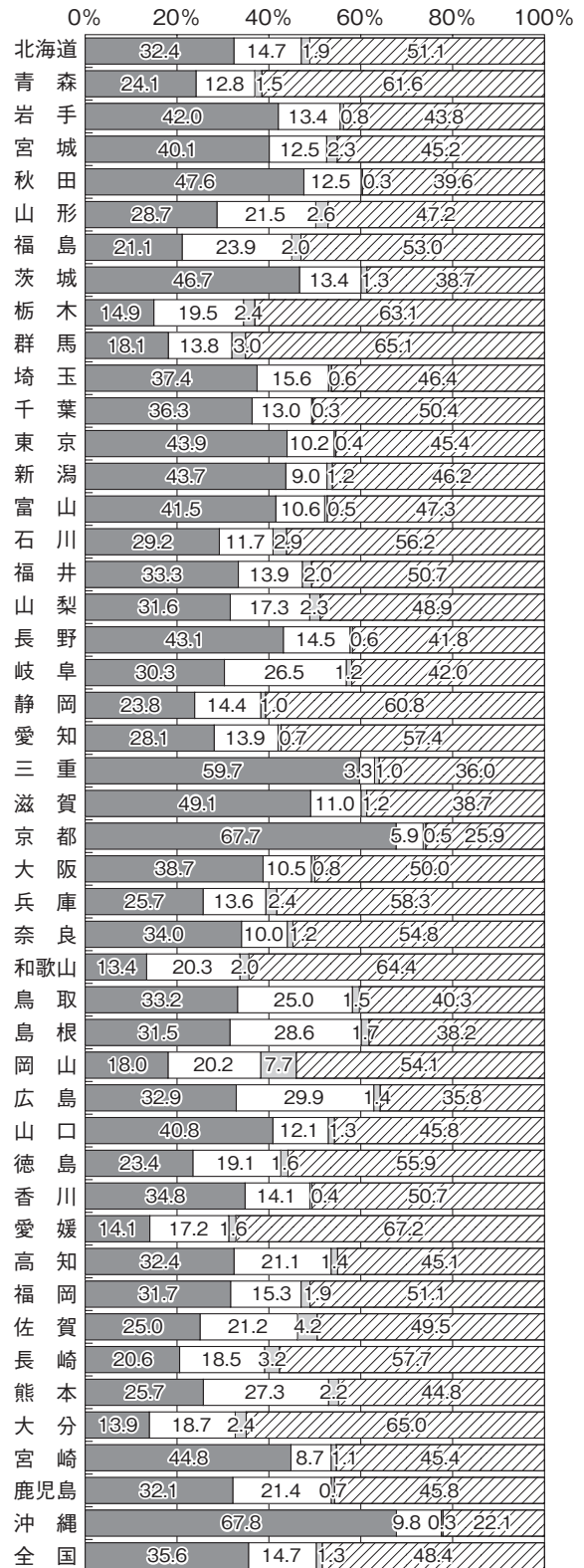
- 照度が下限値 (300Lx) 未満の教室があった
- 照度が下限値 (500Lx) 未満のコンピュータ教室があった
- 最大照度と最小照度の比が20:1を超える教室があった
- ▨ 最大照度と最小照度の比が20:1を超える黒板があった
- 該当なし

A-9 まぶしさの検査結果について、該当するものを選んでください。



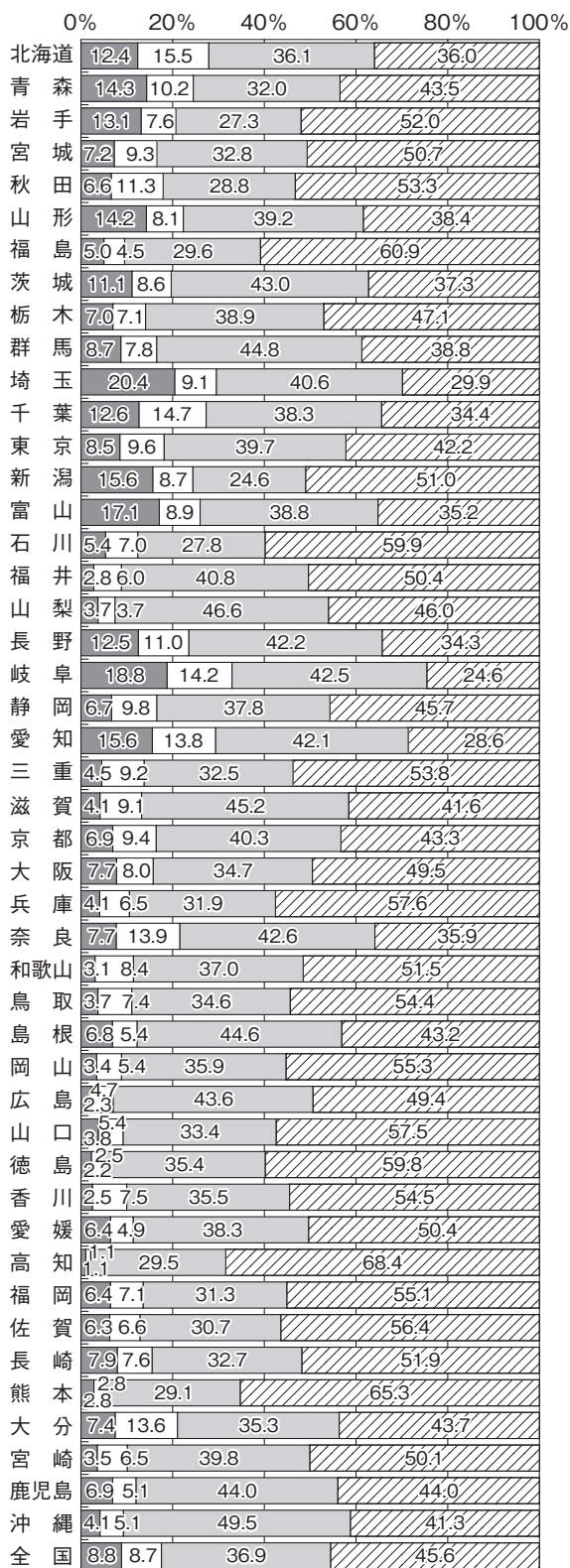
■ まぶしさがあった  
□ まぶしさはなかった

A-10 「採光及び照明」に関して改善が必要な場合の事後措置について、該当するものを選んでください。



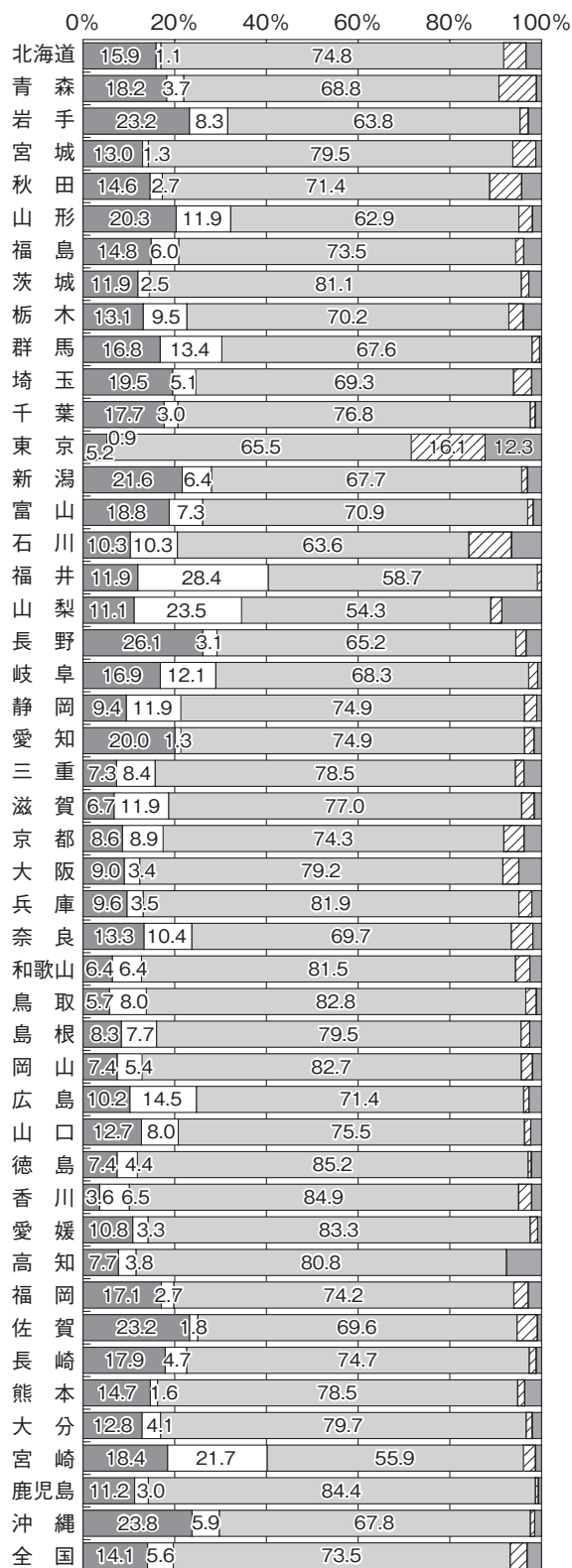
■ 報告書を提出して指導・助言した  
□ 口頭で指導・助言した  
□ 何もなかった  
☒ 改善の必要はなかった

A-11 照明器具の清掃の回数について、該当するものを選んでください。



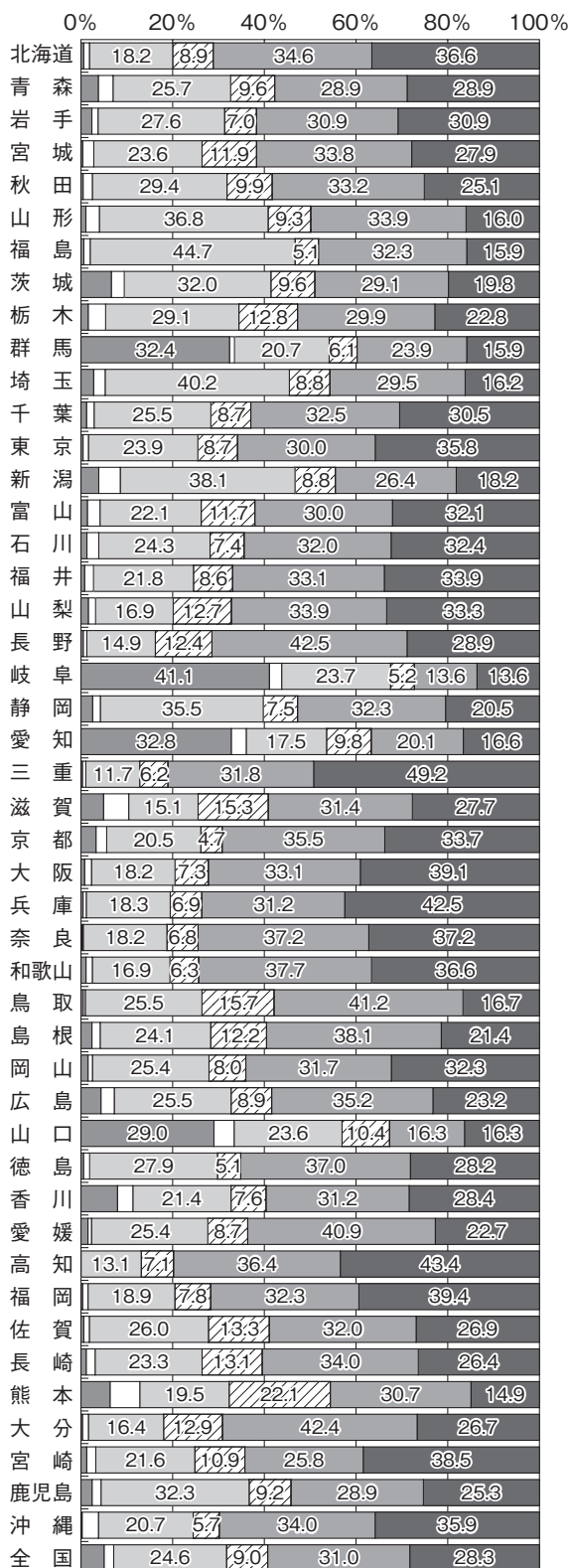
- 年3回以上
- 年2回
- 年1回
- ▨ 行わなかった (Bの設問へ)

A-12 照明器具の清掃の実施者について、該当するものを選んでください。



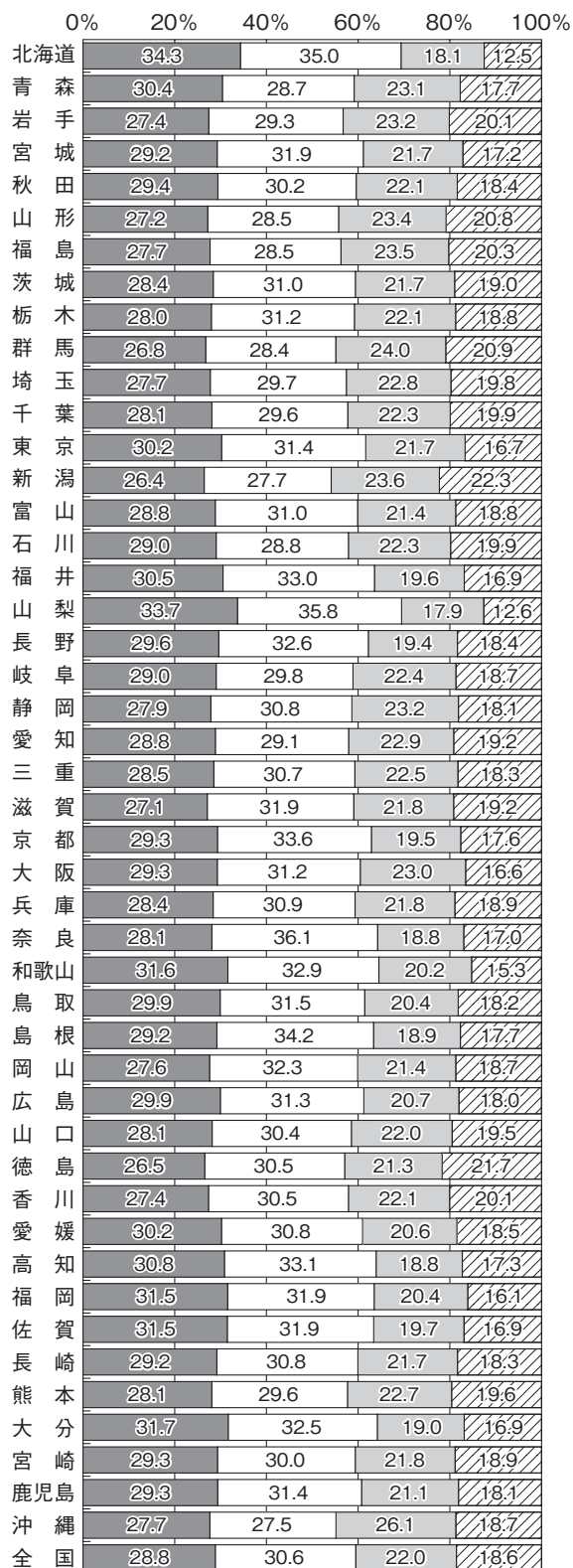
- 生徒 (中学校・高校)
- 保護者
- 教職員等
- ▨ 業者
- その他

B-1 日常点検の実施及び記録状況について、該当するものを選んでください。



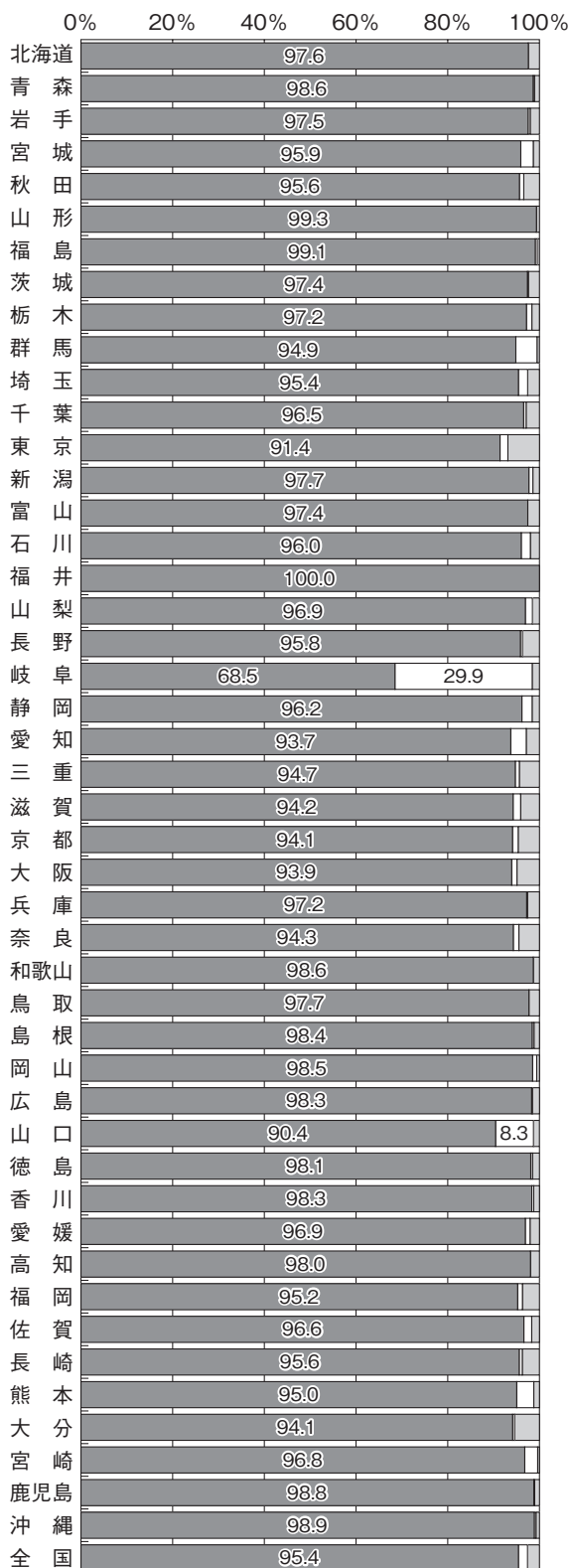
- 毎授業日点検し、毎回記録している
- 毎授業日点検し、時々記録している
- 毎授業日点検したが、記録はない
- 時々点検し、記録はある
- 時々点検したが、記録はない
- 行わなかった (Cの設問へ)

B-2 日常点検項目について、該当するものを選んでください。(複数回答可)



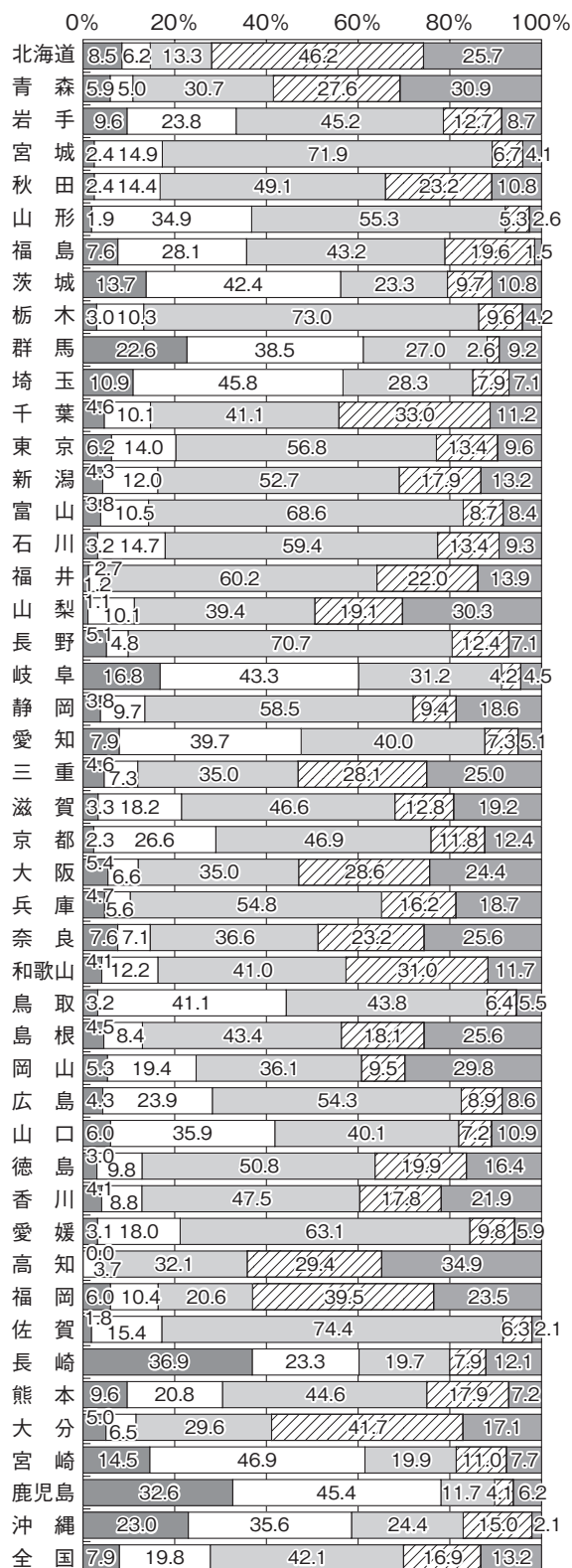
- 黒板面の明るさ
- 机上面の明るさ
- 黒板面のまぶしさ
- 机上面のまぶしさ

B-3 実施者について、該当するものを選んでください。



- 教職員
- 児童生徒
- その他

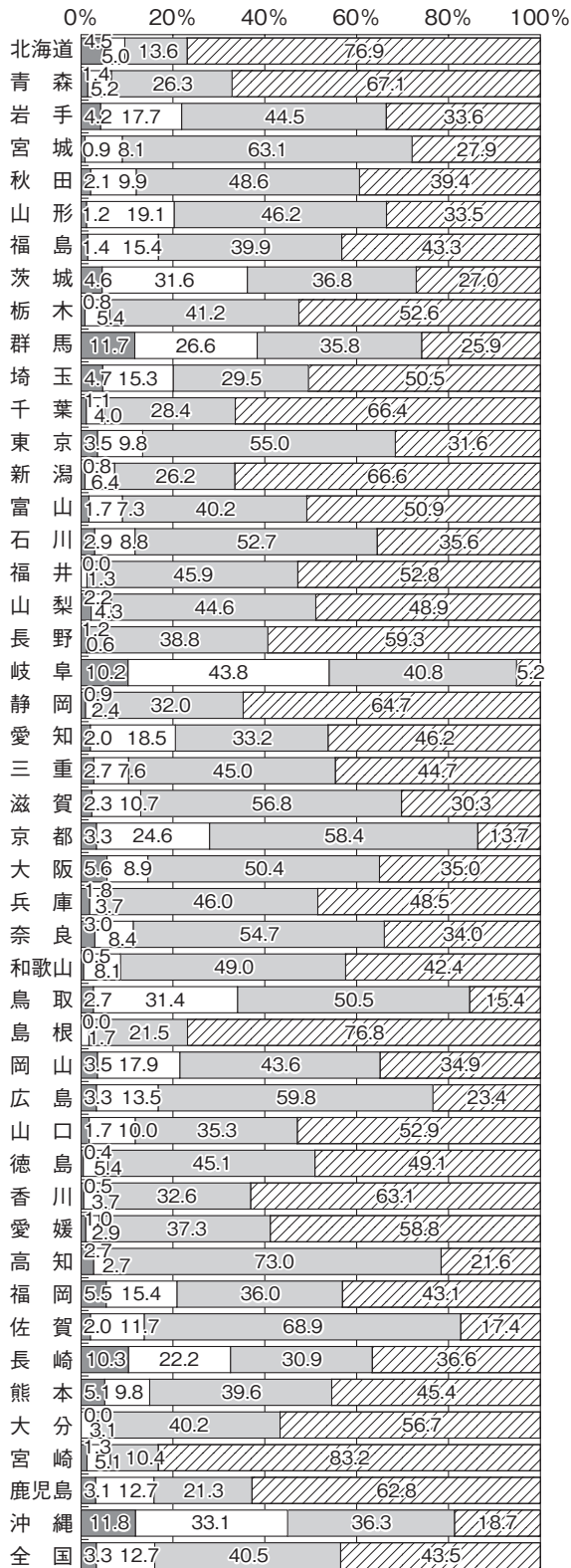
C-1 学校保健安全委員会等の開催回数について、該当するものを選んでください。



- 3回以上開催した
- 2回開催した
- 1回開催した
- ▨ 開催しなかった (C-5の設問へ)
- 学校保健安全委員会等はない (C-5の設問へ)

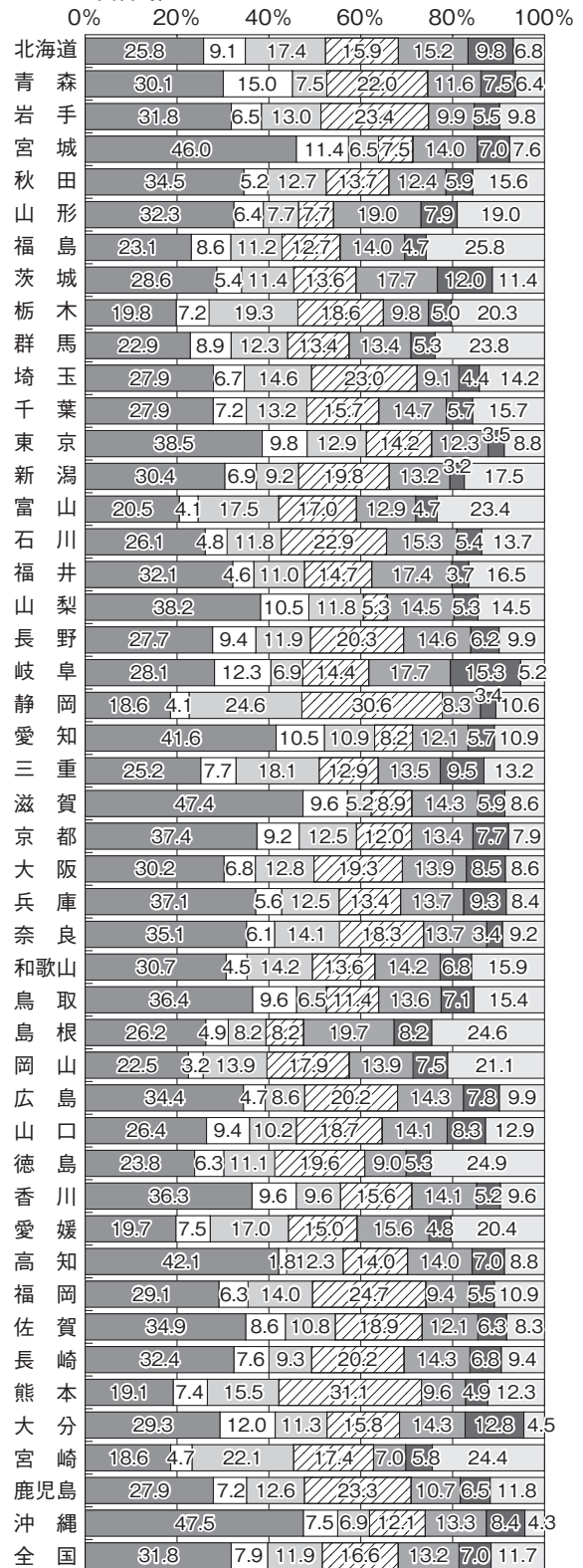


C-2 学校薬剤師の学校保健安全委員会等への出席について、該当するものを選んでください。



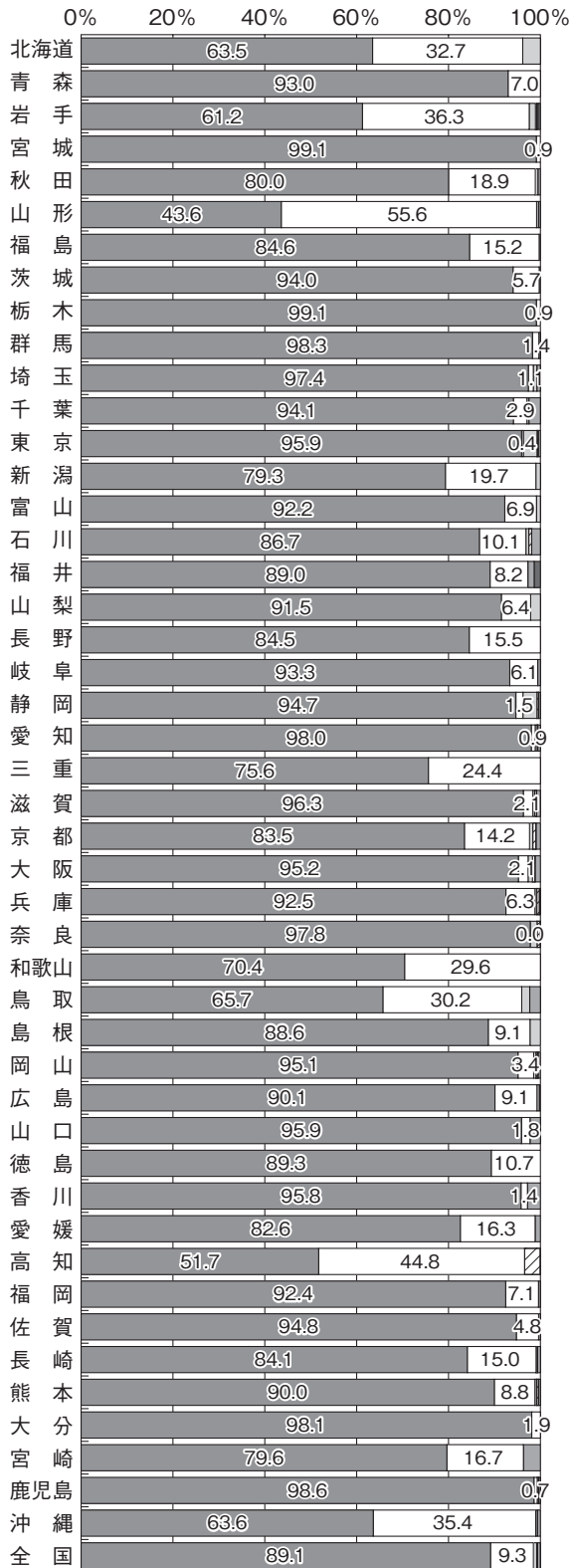
- 3回以上出席した
- 2回出席した
- 1回出席した
- 出席しなかった (C-5の設問へ)

C-3 学校保健安全委員会等での学校薬剤師に係わる議題について、該当するものを選んでください。(複数回答可)



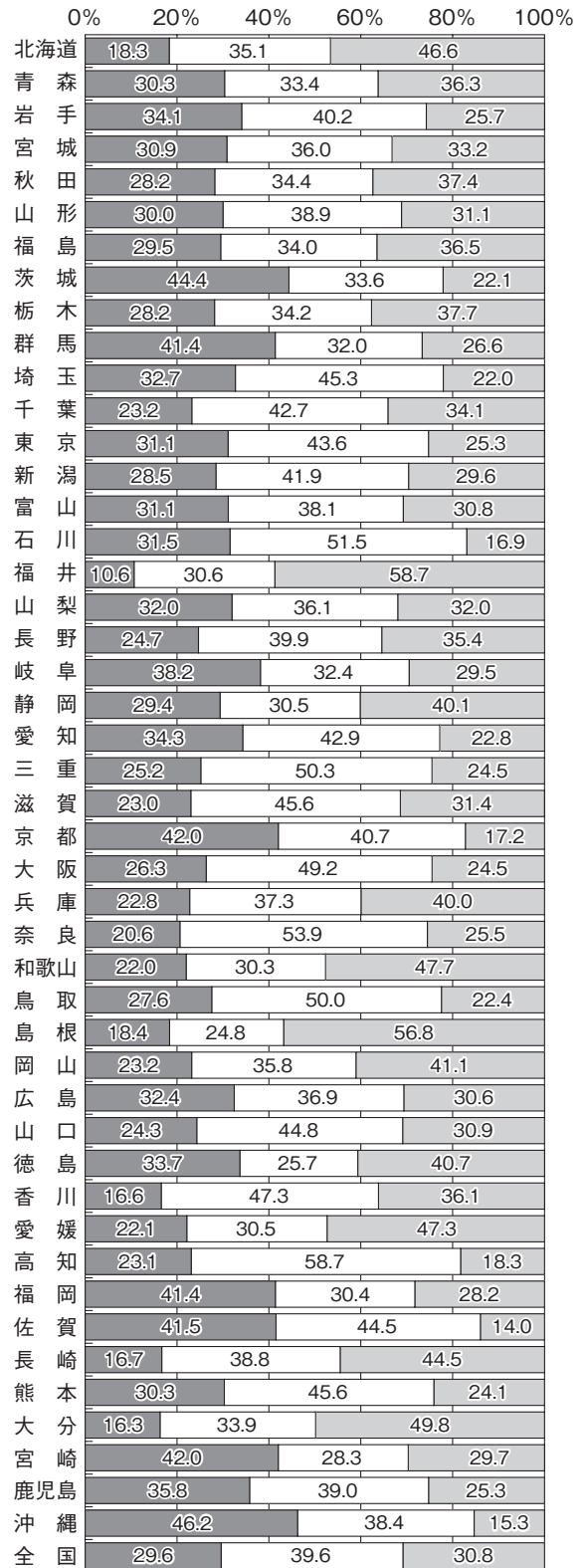
- 定期検査及び臨時検査
- 日常点検
- 薬の適正使用教育
- 薬物乱用防止教育
- 学校保健計画
- 学校安全計画
- その他

C-4 開催日時について、該当するものを選んでください。(複数回答可)



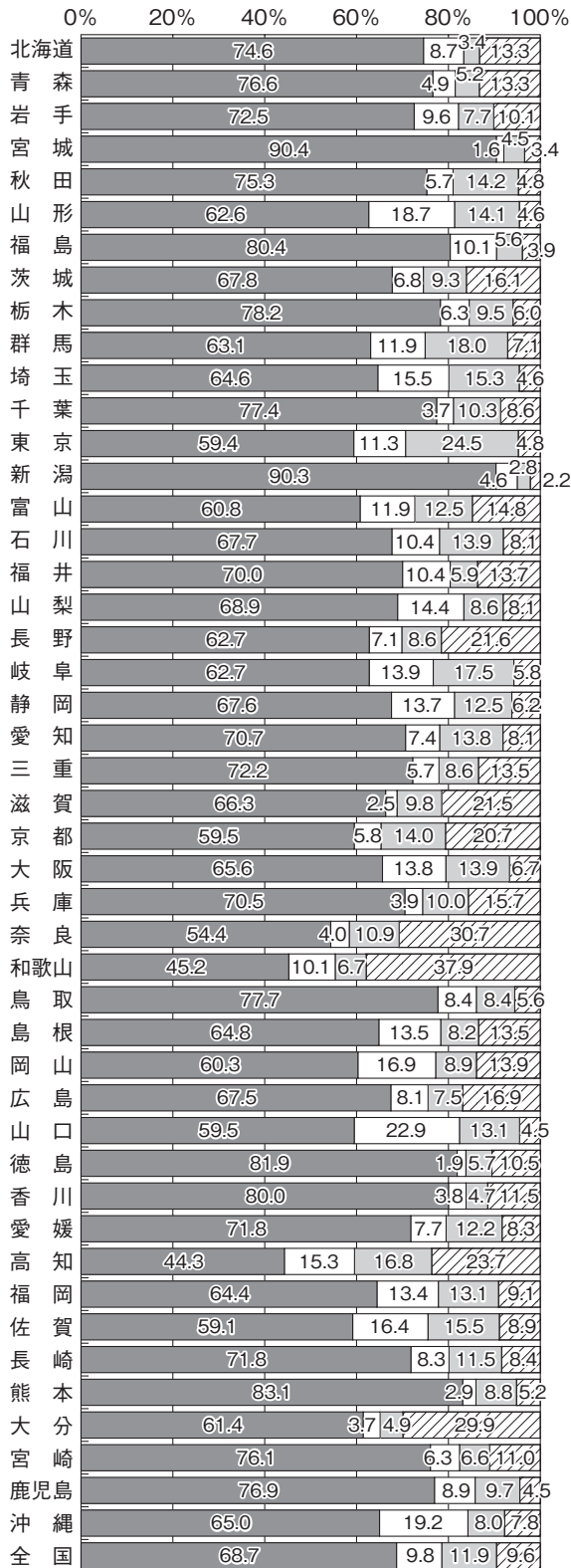
- 平日の昼間
- 平日の夜間
- 土曜日の昼間
- 土曜日の夜間
- 日曜日の昼間
- 日曜日の夜間

C-5 学校薬剤師活動に係わる研修会や講習会等への参加状況について、該当するものを選んでください。



- 積極的に参加した
- ときどき参加した
- 参加しなかった

C-6 学校薬剤師執務記録簿への記入について、該当するものを選んでください。(複数回答可)



- 職務に従事したとき
- 電話等で指導助言したとき
- 学校保健に関する研修会や講習会に出席したとき
- その他